

リメンバー新聞

106号

2020年12月25日

編集・発行
リメンバー名古屋自死遺族の会
<http://will.obi.ne.jp/remember/>
remember_nagoya@yahoo.co.jp
FAX:020-4668-8925
郵便:〒612-8799
京都市伏見区塙木町1148
伏見郵便局留 リメンバー名古屋

リメンバーin岡崎 終了しました

11月15日、岡崎市の「岡崎げんき館」において、わかつ
あいの会「リメンバーin岡崎」を行いました。

今回は13名の方に参加し
ていただきました。

「望年会」中止します

12月27日遺族会終了後に予定していました「望年会」（食事会）ですが、今回は中止とさせていただきます。

※リメンバー（忘れずにいる）会であることから、「忘」を避け「望」の字をあてています。

-会の開催日などをメールでお知らせする-

「リメール」登録のご案内

メールで会の開催日などをお知らせする「リメール」というしくみがあります。メールアドレスだけで匿名で結構です。

パソコン用と携帯用（文字数が少し少ない）があります。
「パソコン版りめーる登録希望」または「携帯版りめーる登録希望」と書いて、メールにてご連絡ください。

メールアドレス：remember_nagoya@yahoo.co.jp

～こころの居場所～ 講演会

他会からのお知らせ

『コロナ禍における自死遺族のこれから』

他会（こころの居場所）からのお知らせです。下記のように自死遺族向けの講演会、個別相談会が行われます。

開催日時：2021年3月27日（土）

講演会：13：30～14：30（開場13:10）

個別遺族会：

13：30～14：30 1枠

15：10～16：10 2枠

講師：西野 敏夫 氏（臨床心理士）

申し込み：事前予約制※感染予防対策のため

メール：cocoroibasyo@yahoo.co.jp

FAX：0561-52-3150

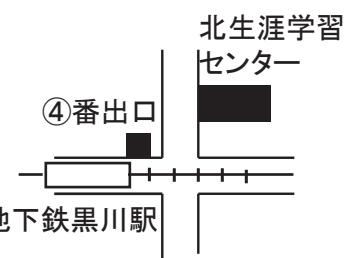
-感染への不安を減らすため・ご協力をお願いします-

- ・アルコールでの手の消毒など（アルコールは準備します）
- ・マスクをお願いします（予備は受付で準備します）
- ・トーキングスティック（話す人が合図として持つもの）を使わない形で行います。
- ・大きめの輪か、できるだけ弧に近い形にします。
- ・お茶など飲み物は各自ご持参ください。

次回の遺族会

第101回

12月27日（日）13:15から
名古屋北生涯学習センター
地下鉄名城線「黒川」下車
(4番出口)よりすぐ
参加費：500円



その次は…

第102回

2021年2月21日（日）
※状況によっては中止・変更
になる場合があります。直前
にご確認ください。

日程は、ホームページまたは、電
話案内でご確認いただけます。

パソコンの方

<http://will.obi.ne.jp/remember/>
携帯電話の方

<http://www.will.obi.ne.jp/m/>
電話案内（録音でのご案内）

090-8544-9408

新聞郵送をご希望の方へ

1月～6月末までのお申し込み（前
期）…1000円

7月～12月末までのお申し込み（後
期）…500円

詳しくはスタッフまで

スタッフ募集

遺族会に参加したことがある方で、
会の活動のお手伝いをいただける
方募集しています。

詳しくはお問い合わせください。

○○○ 近隣の遺族会のご案内

以下中止・延期の場合もありますので、直前にご確認の上、お出かけください。

次回「ディアレスト」のご案内

家族ではないけれども大切な人を自死で亡くされた方を対象に、遺族会「ディアレスト (Dearest)」が開催されています。今回はオンライン(Zoom)で開催予定です。

日時：2021年1月予定

対象：家族以外の大好きな人（恋人・婚約者・パートナー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、など）を自死（自殺）で亡くされた方

連絡先：the.dearest1@gmail.com

<http://dearest.heyah.jp>

次回「～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室」のご案内

通常の分かち合いのかわりに、3月27日（土）に、個別の相談会となっています。詳しくはお問い合わせください。

連絡先：cocoroibasyo@yahoo.co.jp

090-4447-1840 <http://cocoroibasyo.org/>

次回「いっぷく処」のご案内

さまざまな宗派の僧侶の方が集った「いのちに向き合う宗教者の会」による、自死遺族のわかつあい「いっぷく処」、次回の開催は未定となっています。

「いっぷく処 お便り」として、会の担当の僧侶との文通によるやり取りを行っておられます。詳しくは下記までお問い合わせください。

主催：いのちに向き合う宗教者の会

連絡先：info@inochi.in <http://inochi.in/>

自死遺族向け面接相談（無料）のご案内

○愛知県精神保健福祉センター

要予約 052-962-5377 毎月第3木曜日 午後2時-3時30分

○名古屋市精神保健福祉センターここらぼ

要予約 052-483-2095 每月第3火曜日 午前10時-12時

自死遺族向け電話相談（無料）のご案内

自死遺族を支援するN P O 法人「アフター・ザ・レイン」（名古屋市）による電話相談

<https://aftertherain-japan.org/>

夜間電話相談：毎週火曜日 22時から翌朝4時まで。

0570-017-222

りめんばー

例年12月の会の後に行っている「望年会」は、今年はコロナウイルス感染への懸念から中止とさせていただきました。名前を「忘」ではなく「望」としているのは、リメンバーに憶えている、忘れないでいるという会の思いからです。会で出会ったみなさま同士、「わかつあい」の場を離れてゆっくり話ができる機会として行ってきました。

今年は、様々な行事が中止となり、人と人が会って話をする機会がずいぶん減りました。オンライン飲み会、オンラインでの講演会、舞台公演など、オンラインで置き換えられたこともたくさんあります。

そのことで、気の進まない集まりに出かけたり、特に会いたいわけでもない人たちや、話したくない話題の輪の中で、じっと我慢して過ごす必要がなくなったのはよかったです。遠方まで行かなくても、自宅に居ながらにしてイベントに参加できるのは気楽でした。また、簡単に会うことができなかった遠方の人たちと、顔を見ながら話をする機会がうまれたのは、オンラインならではのことだったように思います。

これまであたりまえのように行われてきた行事や、これまで他の方法などあまり考えられなかった、人と人の集い。これらはこの1年で大きく様変わりしました。「この行事、別になくてもいいんじゃないの？」「別にオンラインでいいんじゃないの？」と思わされたことも多くありました。

なぜわざわざ人は集い、顔を合わせて話をする必要があるのでしょうか。今年は、中止、オンラインという選択肢が半ば強制的に出現したことで、改めてその意味を問われ始めたように思います。「望年会」、そして「わかつあい」も、中止することや、オンラインの可能性も考えながらの一年でした。行う意味、集う意味を問われ続けた一年だったように思います。

（KN）